

# 令和7年度 道徳教育 全体計画

学校 番号	49	諏訪二葉 高等学校	全 課程	普通 科
----------	----	--------------	---------	---------

学校教育目標
1 自主・創造の気風を養う。 2 日々 努力し、希望・目標を達成する 力を 培う。 3 常に感謝の心を持ち、友愛の精神を育む。
重点目標
1 キャリア教育を通じて自ら学ぶ姿勢を育て、生徒の進路希望の実現を図る。 2 「探究的な学び」を取り入れた授業改善により、生徒の課題解決力・コミュニケーション能力の育成、学力向上に努める。 3 いじめ、体罰のない安心・安全な学習づくりを図る。 4 学校生活の基盤となる規律ある生活態度を育成する。 5 生徒会活動や部活動の活性化を図り、生徒の自主性を育てる。 6 地域と連携し、開かれた学校づくりを推進する。

道徳教育の重点目標
・感謝と思いやりの心を持ち、謙虚に他に学ぶ広い心を持つ生徒を育てる。  ・心身の健康に心がけ、何事にも粘り強く着実にやり抜く生徒を育てる。  ・集団や社会の一員として、自己の役割と責任を自覚して行動できる生徒を育てる。

学年	目標	キャリア教育	ホームルーム活動	生徒会活動・部活動等
1年	・基本的な生活習慣を身に付け、高校生として自覚ある行動をとれるよう指導する。 ・お互いの人権を尊重し、思いやりや規範意識を醸成する。	・生徒一人ひとりに自分の個性を理解し、適切な進路設計と意欲的な挑戦をできるようにする。 ・夢や希望をもって、将来の生き方や生活を考え、社会の現実を踏まえなが	・一人ひとりが自己の役割を認識し、協力し合う態度を養う。	・活動の企画、実践の中で自主自律の精神を養う。
2年	・集団の中で、お互いを認め合い、協力する態度を育てる。 ・自立精神を確立し、自ら考え責任ある行動がとれるように育てる。	・幅広く情報を収集して、学ぶことや働くことの意義と役割を理解し、自己の進路や生き方の選択に生かす。	・集団生活に必要な資質や態度に関する学習を通して、公正、公平、責任などの態度を養い、道徳教育の基礎を培う。	・異年齢集団による自発的、自治的な活動を行い、学校生活の充実や改善を図る。
3年	・社会の一員としての役割や義務を理解し、公德心を育てる。 ・自己実現をし、よりよい人生観・価値観を形成し、国家社会の一員としての自覚を持たせる。	・自らの意思と責任でよりよい選択や決定を行うとともに、その過程での課題や葛藤に積極的に取り組み、克服する。	・「人間関係づくり」をHR活動に生かし、思いやりの溢れる楽しい学校づくりを目指す。	・規則の遵守や協力の精神を養うとともに、愛校心や学校への所属感を深め、よりよい校風の確立と学校の伝統の継承、発展を図る。

各教科	
国語	互いの立場や考え方を尊重し、言語を通して適切に表現したり、的確に理解したりして相互伝達・相互関係を深めていく能力を養う。また、思考力・想像力・洞察力を身に付け、豊かな自己表現力を養う。
地理歴史	我が国や世界の歴史・文化について認識を深め、国際社会に主体的に生きる、民主的、平和的な国家・社会の一員として必要な自覚と資質を養う。
公民	広い視野に立って、社会について主体的に考えさせ、人間としての在り方生き方について自覚を育て、民主的、平和的な国家・社会の有為な形成者として必要な公民としての資質を養う。
数学	数学における基本的な概念や原理・法則の理解を深め、課題に対して協力して解決していく姿勢を身に付ける。数学的な活動を通して客観的理論的に物事を説明できる力を養う。
理科	自然に対する関心や科学的探究能力・態度を育て、感動する豊かな心や自然観を育成する。
保健体育	健康を保持・増進し体力を向上させ、節度を守り、調和ある生活を送る基礎を培う。公正な態度やルールを守り、集団としての役割を果たす責任感を育てる。
芸術・音楽	音楽の様々な活動を通して、豊かな心や生きる力を育むとともに、協働して物事を行う態度や自己表現力を養う。
芸術・美術	自然物を観察し、生命や美に対する感性を育むとで、自己の内面を深く見つめ、社会への視野を広げる。
芸術・書道	書の幅広い活動を通して、様々な表現方法があることを理解し、多面的な視野を養うとともに、豊かな心や自己表現を育む。
外国語	広い視野を持ち、国際感覚や国際協力の精神を育成するとともに、外国の言語や文化に対する理解を深め、その違いを包容する心を育てる。
家庭	人間の発達と生活の営みを総合的にとらえ、家族を思いやり、お互い尊重し、協力して家庭や地域の生活を創造する能力・実践力を育てる。
情報	情報及び情報技術を活用するための知識や技術を習得し、情報社会における情報の意義やモラルを理解させる。
総合的な探究の時間	「探究」の見方・考え方を学び、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を育成することを目指す。

家庭・地域との連携	・「学校通信」「進路だより」「保健だより」「PTA新聞」「Webサイト」などで保護者と連携を図る。 ・PTA活動や学校評議員会などの話し合いを通して地域や保護者、学校関係者との連携を図る。
-----------	---